

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にする心 を持ち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

飛鳥の地域で生きる喜びを感じる子どもが育つこと。そのために、地域と学校がより密につながる場と機会をつくり、これまで以上に地域で子どもを育む環境を整えること。また、地域の土台となる家庭を支え、地域の中で教師が育ち、学校と関わる地域人材が育つこと。

【今年度の取組紹介】

夏期小中合同研修(8/1)の場を利用し、地域の方々[CS]と小中全教員で、『子どもたちを笑顔にする学校・地域』をテーマに、オンラインも活用した【熟議】を昨年度に引き続き行いました。この熟議を基にして、「子どもたちの自主的な、達成感のある活動」の創造を目標に、コロナ禍で中止となっていた「飛鳥フェスティバル」(10/22)の3年ぶりの開催を実現することができ、まさに「子どもたちの笑顔が溢れる」・「地域とのつながりをあらためて実感する」、貴重な機会となりました。

また、「日本舞踊」に携わっておられる地域人材とのつながりをきっかけに、キャリア教育推進事業として毎年行っているスペシャリスト講演会において、文化庁による「文化芸術による子供育成総合事業」を活用した『日本舞踊体験・鑑賞会』を行うことができました。日本舞踊協会による、我が国が誇る「本物の伝統芸能に触れる体験」を通して、「子どもたちの豊かな感性や生きる力」を育むと共に、「地域に誇りを持ち、大切にする心」の醸成につながる、有意義な時間を持つことができました。



【今年度のまとめ】

『子どもたちの笑顔のために』をスローガンにした【熟議】を2年続けて行うことで、地域・小中学校が一体となって、子どもたちの自主性や達成感を育むための教育活動の創造に結びつけることができました。このような、「子どもたちのためにできることを地域と学校が共に考え、改めて地域の宝である子どもたちにつけたい力、地域を知り、地域を愛し、地域に誇りを持って、健やかに子どもたちが育つような方策を考える時間」を持てていることは、大変有意義でありがたいことです。

【来年度に向けて】

今後も引き続き、地域・学校・保護者が協働・連携して、「地域に誇りを持ち、地域を大切にする」子どもたちを育てていけること、「子どもが自ら考え、主体的に行動できる活動をする事」を大切にしていきたいです。いつもそばに地域の方がいる中で子どもたちがいきいきと活動し、地域の大人も子どももお互いが支え合い、大切に思いあえる関係づくりを大事にしていきたいと思います。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることを**もち、自ら考え主体的に行動する子ども**

取組目標

自分を知り、自己の考えを育て、それを皆の前で表現し、行動できる力を育てる**【今年度の取組紹介】**

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による制限が続く中でしたが、『「できない」でなく「できる」ことを考えよう』と、学校・地域・保護者が一体となって、様々な取組を行うことができました。

6年目を迎える「あすかスタディ・サポート（放課後学習）」での学習支援も、地域ボランティアの方々や奈良教育大学生ボランティア(大学生参画事業)と協働で推進すると共に、図書室の整備等にも尽力していただくことができました。

また、『子どもたちの豊かな感性や生きる力を育みたい』との願いから、本年度は『様々な本物に触れる体験』も行いました。自然農法による米作りをされている地域人材の方にご協力いただいたの「バケツ稲作り」や、プロのオーケストラから5名の奏者をお招きしての「クラシック鑑賞・体験会」など、普段では体験できない貴重な学びの時間となりました。

さらには、今年度も中学3年生の模擬面接で、地域の方々に面接官としてご協力いただきました。地域の方に生徒の様子を知っていただくことで、子どもたちに付きたい力、今必要な力について丁寧にアドバイスをいただき、地域の方々に見守られて育てていただいていることを、生徒たちが実感する大切な機会をもつことができました。

**【今年度のまとめ】**

「未来を切り拓く力」の育成に向けて地域行事、学校行事、そしてキャリア教育においても、常に地域との協働を基本にすえ、活動に取り組んできました。特に、今年度は「バケツ稲作り」や「クラシック鑑賞・体験会」といった『様々な本物に触れる体験』を行うことができ、「子どもたちの豊かな感性や生きる力」を育む、貴重な学習活動の場となりました。

【来年度に向けて】

今年も「(地域の中で、地域の方と共に)自ら考え主体的に取り組む」ことをテーマに取り組んできました。その基盤となる「人と関わる力」「自分に誇りを持つ力」「確かな学力」の育成に向けて、これからもコーディネーターと教職員がしっかりと連携し、地域行事・学校行事での地域との協働を深化しつつ、生徒の学力支援や探求的な学習活動の開発などに取り組んでいきたいと思えます。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることを 持ち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

地域に根差した学習活動等において、地域の方々がより活躍できる出会うの場を計画し、児童が様々な地域の方々と出会うことで、地域のよさに気づき地域を大切にしようとする意識を育てる。

【今年度の取組紹介】

今年度も、これまで新型コロナウイルス感染拡大防止をふまえた対応となりました。しかし、地域の方と常に考えていたのは、昨年度同様、取組をゼロにするのではなく、今、できることを行っていこうというものでした。その方針を踏まえて、昨年度よりもさらに取組を進めることができました。そのいくつかを紹介いたします。

まず、地域の方と共に、「ならまち探検」や「世界遺産学習」に行きました。本校区は、歩いてすぐの場所に東大寺や興福寺などの多くの世界遺産があることから、地域の方と共に、充実した貴重な時間を過ごすことができました。

次に、オンラインを利用し地域の方と共に研修を夏に行いました。この取組により、地域の方と本校および飛鳥中学校教職員との交流を深めることができました。その甲斐もあり、本校を会場にした飛鳥フェスティバルは、大盛況でした。

また、今年も、本校児童が、登下校等に見守り運動をしていただいた地域の方に、鉢花を作成し、配るなど、感謝の思いを伝える機会をとりました。対面で地域の方と本校児童が向き合う機会を久しぶりにとることができました。



【今年度のまとめ】

今年度もコロナ禍の中、様々な活動の制限もあり、例年通りとはいきませんでした。地域の方々に協力を得ながら、まち探検などの地域学習に対して、地域の方々の参加できる体制をできる限り整えました。また、見守りなどを行ってくださっている地域の方へ感謝の思いを伝える機会も多く持ちました。このことにより、地域の方々の学校への関わりや思いが、子どもたちにも確実に伝わっており、いろいろな機会です学校や地域を良くしていこうという気持ちが、さらに子どもたちにも広がっています。

【来年度に向けて】

来年度も一層、小学校も中学校と同様に、地域の教育力を支え高める拠点として機能できるように連携の強化を更に図り、しっかりと見通しと計画をもって様々な事業を実施していきます。また活動に対する評価をしっかりと行い、見直しや改善等が必要な場合は、話し合いを密接に行い、子どもたちと地域がしっかりと繋がることができる充実した取組となるようにしていきたいと考えます。ホームページによる発信も積極的に行っていきたいと思っております。